



《会計・税務の知識》 相続税の税務調査状況について

はじめに

国税庁が毎年年末に公表している相続税の税務調査の調査状況について、過去 5 年分まとめたものを紹介します。

1. 直近 5 年間の調査状況について

以下の表は令和元年から令和 5 年までの相続税の調査状況です。申告書の提出があった納税者に対して実施される「実地調査」と電話や税務署での面談による「簡易な接触」の他、本来申告義務があるであろう納税者に対して実施される「無申告事案に対する実地調査」について、それぞれ調査結果の状況を公表しています。

相続税の実地調査実績

項目/事務年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
実地調査件数	10635件	5106件	6317件	8196件	8556件
申告漏れ等の非違件数	9072件	4475件	5532件	7036件	7200件
非違割合	85.3%	87.6%	87.6%	85.8%	84.2%
追徴税額(本税+加算税)	681億円	482億円	560億円	669億円	735億円
調査一件当たり追徴税額	641万円	943万円	886万円	816万円	859万円

(出典：国税庁)

簡易な接触の事績

項目/事務年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
簡易な接触件数	8632件	13634件	14730件	15004件	18781件
申告漏れ等の非違件数	2282件	3133件	3638件	3685件	5079件
非違割合	26.4%	23.0%	24.7%	24.6%	27.0%
追徴税額(本税+加算税)	42億円	65億円	69億円	87億円	122億円
簡易な接触一件当たり追徴税額	48万円	47万円	47万円	58万円	65万円

(出典：国税庁)

無申告事案に対する実地調査実績

項目/事務年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
実地調査件数	1077件	462件	576件	705件	690件
申告漏れ等の非違件数	921件	409件	502件	607件	613件
非違割合	85.5%	88.5%	87.2%	86.1%	88.8%
追徴税額(本税+加算税)	97億円	61億円	74億円	111億円	123億円
調査一件当たり追徴税額	897万円	1328万円	1293万円	1570万円	1787万円

(出典：国税庁)

2. 直近 5 年間の申告漏れ相続財産の金額推移

以下の表は令和元年から令和 5 年までの申告漏れ相続財産の金額推移です。全ての年において「その他」の項目が 1 位となっています。

申告漏れ相続財産の金額推移

財産/事務年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
家屋	58億円	29億円	41億円	67億円	75億円
土地	373億円	188億円	257億円	336億円	333億円
有価証券	323億円	282億円	274億円	309億円	291億円
現金・預貯金	993億円	529億円	705億円	815億円	825億円
その他	1254億円	728億円	910億円	1062億円	1202億円

(出典：国税庁)

おわりに

相続税の調査結果、簡易な接触を除くと非違(=修正申告)割合が 80%超と非常に高くなっていることが確認できます。申告漏れ財産の 1 位が毎年「その他」となっており、納税者は的確に相続財産を把握する必要があります。

ご不安な点等ございましたら是非、弊所までご相談ください。

(担当：菅原)